

道の駅「若狭おばま」(和久里)で、特産品や野菜、工芸品などの販売や、フードコートの調理を任されている糸田さん。「高校卒業後、県外でバスガイドの仕事をしていましたが、地元で観光業に携わりたい」と一念発起。昨年4月から、舞鶴若狭自動車道インターチェンジの近くにある同駅で働き始めました。「小浜の玄関口としてお客さんに直接地域の魅力を伝えられることがやりがい。また小浜に来たいと思ってもらえるような接客を心掛けています」と笑顔をみせます。

小浜の魅力伝える仕事にやりがい



勤務先 おばま観光局
いとだ あかり
糸田 亜加理 さん
(22歳・生守)

プライベートでも道の駅を見かけると寄ってしまうことが多いという糸田さん。「参考になる手法があれば取り入れるようにしている」と魅力ある店舗づくりに努力を惜しみません。観光客や地元業者など多くの人が往来する道の駅。糸田さんは、「お客さんからの温かい言葉や地元住民の優しさに触れることで元気がもらえます。店舗を訪れる人にもその元気を還元したい」と力を込め、「今後は、観光イベントなどの仕事にも関わっていきなりたいです」と話してくれました。



小浜スポーツ少年団 団員
たなか たいち **田中 泰地 くん**
(小浜第二中学校3年生) さわ りょうご **澤 亮悟 くん**
(小浜中学校1年生)
さわ しょうご **澤 正悟 くん**
(小浜小学校2年生)

きりり! 小浜人

全国への切符手に次のステージへ

小浜スポーツ少年団の空手教室には、市内の小中学生15人が所属。週2回、空手の動きを1人で演じる「形」の習得を通じて、心身の鍛錬に励んでいます。4月に大阪府八尾市で行われた国際松濤館近畿地区選手権では、同教室から3人が入賞し、8月の全国大会への出場権を獲得しました。「新しい形を覚えて、自分の技に切れが出てきたときが楽しい」と空手の魅力を語る、最年長の田中くん(写真奥)。父・直孝さんは、高校受験を控える我が子に「これまで培ったものを自信に

変えて頑張って」とエールを送ります。一方で、初めて全国大会に出場する、澤亮悟くん(同中央)、正悟くん(同手前)兄弟。兄の亮悟くんは「全国の舞台は緊張しますが、大会までに少しも技術を伸ばして、1つでも上へ進みたい」と謙虚に、弟の正悟くんは「(自分分は)緊張しないと思う。いつもどおり頑張ります」とひょうひょうと、それぞれ意気込みを語る姿が対照的です。新たなステージへ挑戦する3人は、仲間たちとともに、今日も切磋琢磨を続けています。

燃えろ! 青春! 部活道

みんなで金賞つかみ取りたい

入学式で先輩たちの演奏するきれいなハーモニーに感動して、ブラスバンド部への入部を決意したという高橋さん。現在は、総勢43人の男女が所属する同部で部長を務めています。部では、「一人ひとりの笑顔と音が華やかに咲き誇ってほしい」という思いを込め、3年生が中心になって考えた「咲・響・華」をチーム理念に掲げ、演奏技術の向上に励みます。コンクール以外にも地域のイベントや敬老会などで練習の成果を披露。高橋さんは、「会場が一体となり、聴

衆の皆さんと感動を共有できることが楽しい」と笑顔をみせ、「全員の音がそろったときは思わず全身に鳥肌が立つ」と合奏の魅力を語ります。「これまで出場した大会などでは納得できる成績が残せていない」という高橋さん。昨年を超える演奏をしたいと7月下旬に開催される県吹奏楽コンクールに向けて練習にも熱を帯びています。「3年生にとってはこれが最後のコンクール。みんなの気持ちをひとつにして、全員で金賞をつかみ取りたい」と意欲をみせました。



ブラスバンド部 部長
たかはし よしえ
高橋 由江 さん
(小浜第二中学校3年生)

燃えろ! 青春! 部活道

役と自分の「一体感」が醍醐味

若狭高校演劇部には、3年生1人、2年生3人が所属。毎年9月に行われる県演劇祭など、年間4本前後の公演を行っています。部長の森脇さんは、中学生のときに見たミュージカル「ライオン・キング」に衝撃を受け、嶺南で唯一演劇部がある若狭高校に入学しました。入部後は1年生から舞台に立ち、同

年秋には、メインキャストとして出演した作品が県演劇祭で金賞を受賞。「演技中、役の人物と自分自身が一体になるような、『役に入った』感覚を得たときが役者としての醍醐味」と、演劇の魅力を語ります。5月に田島区で行われたイベントでは、プロの劇団の公演に部員たちと海の精霊役で参加。森脇さんは、「道具や演出、演技など、プロの仕事を誰よりも間近で体験できた。演劇を学ぶ上で貴重な経験です」と振り返ります。「将来は子どもと関わる仕事がいい」という森脇さんは、「大学生や社会人になっても、趣味として、いつまでも演劇を楽しみたいです」と笑顔で話してくれました。



演劇部 部長
もりわき あいみ
森脇 愛海 さん
(若狭高校3年生)



地域おこし協力隊おススメ

小浜百景

第45回

稲荷神社（上田）

上田区の見谷集落の山中、竹林を背にした社には、1750年に京都の伏見稲荷大社から分霊された稲荷神が祭られ、地域の人に「お稲荷さん」と親しまれています。

お稲荷さんの“住まい”であるこの社は、本年5月、地域の人々の手で新調され、新たな装いとなりました。

近くに住む人たちの話では、「以前の社は1831年に製作されたもので、老朽化が進んでいました。新調の際は自分たちで鳥居の塗装などを行い、その後の参拝や直会では、お年寄りから小さな子どもまで集落者が集まり、親睦を深めました」とのこと。

地域の人々が「これからも大切にお祭りしていきたい」と声をそろえるお稲荷さんは、皆の心のよりどころとして、今日も静かにこの地を見守っています。



【アクセス】
小浜市上田
JR小浜駅から車で20分
小浜ICから車で22分

【文と写真】
地域おこし協力隊 オカモト



知ってほしい、役に立つ事業をキリトリ！

市役所 お仕事ファイル

市税の口座振替による 納付を勧めています

■問い合わせ 税務課 ☎ 64・6005

市税の納付は便利で安心な
口座振替で

市では、市税の口座振替での納付を勧めています。口座振替による納税は、金融機関の窓口などに出向く必要がないため、便利で安心、納め忘れもない確実な納付方法です。

市税の口座振替を新規（税目追加も含む）で申し込んだ人を対象に、抽選で特産品などが当たるキャンペーンが、下記のとおり実施されます。この機会に便利で安心な口座振替を利用しましょう。

口座振替の申込方法

市内に本店または支店がある各金融機関窓口で、「小浜市公金等口座振替依頼書」に記入の上、手続きをしてください。

また、税務課の窓口では、専用端末に金融機関のキャッシュカードを通して、暗証番号を入力するだけで手軽に口座振替の申し込みができる「ペイジー口座振替受け付けサービス」を行っています（若狭農業協同組合、福井県信用漁業協同組合連合会は利用できません）。

キャンペーン期間

7月1日(月)～11月29日(金)

抽選で特産品を
プレゼント!



※当日銀行受付印有効

※すでに4月から6月の期間中に、口座振替を新規（税目追加含む）で申し込んだ人も抽選対象

10名様 ふぐ宅配セット



※写真とは内容が異なる場合があります

5名様 さばトラななちゃんセット
(小浜の特産品セット)

20名様 さばトラななちゃんお買い物券
(道の駅「若狭おばま」・濱の四季)

発送をもって当選の発表にかえさせていただきます
(令和2年3月下旬発送予定)



▶対象税目
市県民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税

▶対象金融機関
福井銀行・小浜信用金庫・福邦銀行・若狭農業協同組合・北陸労働金庫・福井県信用漁業協同組合連合会・ゆうちょ銀行

▶各金融機関で手続き時の準備物
・引き落とし口座の預貯金通帳
・届出印

▶税務課窓口で手続き時の準備物
・運転免許証などの本人確認ができるもの
・口座振替を希望する金融機関のキャッシュカード

※市税に滞納がある人、法人は除きます

※期間中に口座振替を解約し、再度同一口座で申し込んだ場合は対象外です

健康生活のつむぎ

ご存知ですか？

放射線科の活動内容

放射線科って？

放射線科は一般の人にはなじみが薄い名前ですが、実はほとんどの診療科の患者の皆さんに関係する部門です。活動内容は、放射線診断、放射線治療、核医学、画像誘導下の局所治療などに分けられます。

各部門の活動内容は？

放射線診断部門は、X線、CT、MRIなどを利用して病気の有無や性質、広がり具合を診断します。CT検査では、従来の胸部や腹部の検査に加えて、高速撮影が可能でマルチスライスCTを利用して心臓の血管の評価が可能になりました。MRIでは、脳梗塞や脳腫瘍、腰椎椎間板ヘルニアや膝関節症などの詳細な観察が可能です。

放射線治療部門は、放射線を利用したがん治療を行います。体への負担が比較的少ないので、高齢者や仕事を続けながらの治療が可能です。嶺北や県外に行かなくても放射線治療を受けることができます。



杉田玄白記念 公立小浜病院
■問い合わせ ☎ 52・0990

放射線科
丸山 市郎 医師

核医学部門は、放射性医薬品を使った診断や治療を行います。腫瘍や炎症の有無などを診断できるPET検査は敦賀から舞鶴までの地域では公立小浜病院でしかできません。また、前立腺がんの骨転移の痛み止め治療薬であるラジウム・223が利用可能な施設は、県内でも当院を含む数カ所のみです。

画像誘導下の局所治療では、血管内カテーテルによる心臓、脳、腹部、末梢血管の診断や治療を行います。

ネットワーク利用で専門医の診断も可能

公立小浜病院の放射線科には、放射線診断専門医と放射線治療専門医が常時勤務しています。より専門的な判断が必要な場合は、ネットワークを利用した遠隔画像診断も可能です。咳の持続や腹痛、体重減少など、気になる症状がある人は検査を受けてみてください。病院外からの紹介検査も可能ですので、かかりつけ医に相談してください。